

世界で培った技術力でつくりあげた革新の軽自動車 Honda Nシリーズ 発進。

1966年に発表したHonda初の量産軽乗用車N360の新聞広告には、
こう書かれていました。

キャビン 「**先ず客室から設計をはじめました**」

居住性もスピードも十分とは言えない当時の軽自動車に対し、Hondaは、設計を客室からスタートすることで人のためのスペースを最大限に広げ、持ち前のエンジン技術とともに、常識をくつがえす“広さと力強さ”を実現したのです。

あれから45年。人々のライフスタイルは大きく変わり、クルマを取り巻く環境も変化しました。近年、ダウンサイジングが進む中でHondaが改めて注目したのは、軽自動車の可能性です。日本独自の規格として長年愛され、機能も性能も大幅に進化してきましたが、一方で、「軽自動車だから」という考え方が見え隠れすることも否めません。けっして規格に甘えない、規格があるほど情熱を燃やすのがHondaです。事業で、レースで、世界と戦ってきた私たちなら、軽自動車の常識を超える価値を再び創造できると考えました。

キャビン 「**そして、もう一度、客室から設計をはじめました**」

定められたサイズの中でお客様のためのスペースをどれだけ拡大できるか。まさに、M・M思想*の究極の体現を目指し、世界で培ってきた技術を惜しみなく注ぎました。広い室内を実現するのはボディ技術だけではありません。エンジンやトランスミッションから、サスペンション、燃料タンクまで、あらゆる領域でコンパクト化を突き詰めてこそ、室内の拡大が可能になるのです。こうして、パワープラントを含むプラットフォームすべてを刷新した結果、広さも快適性も経済性も安全性も、もはや軽自動車の枠には収まらない、驚異的な次元に到達させることができました。

日本にベストなあたらしいのりもの。

革新の軽自動車Honda Nシリーズが、いよいよN BOXからスタートします。

*「M・M思想」とは、「人のためのスペースは最大に、メカニズムは最少に（マン・マキシマム/メカ・ミニマム）」という、「人が中心」の発想で取り組むHondaのクルマづくりの基本思想。

